

学校だより

10月号

港区立白金小学校

発行人 加納 一好

平成三十年九月二十八日

安全・安心な生活のために

校長 加納 一好

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、本当に涼しくなってきました。三連休も続きます。子供たちの体調に気を付けていきたいと思えます。

一か月前になります。引き渡し訓練への参加、ありがとうございます。今年も土曜日ということもあり、お父様の参加も多く、時間内に全員が引き渡された学級がいくつもありました。

さて、子どもたちは、どのくらいの時間を学校で過ごしているのかご存知でしょうか。計算してみると朝八時から午後三時まで七時間いたとして、授業日は年間二百一日ですから、千四百七十七時間になります。一年間は二十四時間掛ける三百六十五日で、八千七百六十時間です。千四百七十七割る八千七百六十を計算すると〇・一六八です。約十七%です。つまり、一年間の約十七%の時間しか学校で過ごしていません。思ったよりも少ないと思いませんか。

そして災害の話です。白金台の地域で怖いのは地震ですが、地震はいつ起きるか分かりません。東日本大震災の地震は午後九時の学校に子どもたちのいる時間に起きりましたが、阪神大震災や先日の北海道の地震は、明け方や夜中に起きています。災害は学校よりも家にいる時に起きる可能性が高いのです。そう考えると、安全教育は学校に限った避難訓練だけでなく、家や外出中に災害が起きたらどうするかを身に付けることがとても大切になってきます。学校での安全指導は学校にいる時と登下校を中心に行うことになっています。在宅時に地震が起きたときの行動についても指導しますが、家庭の状況はそれぞれ違います。ご家庭でも、習い事に行っている時、一人で家にいる時、寝ている時など、状況を踏まえ、地震が起きた時にどうすればよいのかをぜひ話し合ってください。

十月は連合運動会、秋祭り、社会科学見学など学年によって様々な行事があります。また、学芸会の練習も始まります。様々な協力をいただくことになると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

明日二十九日は、子供たちが楽しみにしている児童館のわんぱく祭りです。本校の教員も恒例のかき氷屋さんを出店します。どうぞご来店ください。

副校長に就任して

副校長 高橋 宏彰

このたび、中央区立城東小学校より副校長として赴任してまいりました高橋宏彰（たかはしひろあき）と申します。伝統ある白金小学校の一員となれた喜びを胸に、本校がより良く、さらに発展するように願いながら職務にあたってまいります。どうぞ、よろしくお願いたします。

「プログラミング教育」の推進

研究推進委員長 白石 裕彦

今年度、東京都プログラミング教育推進校の指定を受け、研究を進めています。これまで、プログラミング教育の意義や内容について学び、プログラミングソフト「スクラッチ」の操作や、パソコンを使わないアプリプログラミングの考え方も学びました。

先日二十六日、六年三組角井学級にて、研究授業を行いました。算数「拡大図と縮図」の単元の発展です。算数で学んだことを生かして、自分たちで拡大図や縮図を描くプログラムを作りました。「やつてごらん」と角井先生が言うと、みんな嬉しそうに取り掛かっていました。友達と相談し、教え合う姿、集中して画面に向かう姿が見られました。子供たちの興味関心の高さも感じました。プログラミングを通して、算数の学習の確かめにもなり、よい学習でした。

十月は四年生が研究授業を行う予定です。

学校保健委員会

保健主任 平松 良江

十月十一日（木）、今年度の学校保健委員会が開催されます。

体育館で、本校校医・歯科校医・学校薬剤師・港区学校保健会の婦人科医の先生方を講師にお迎えし、六年生の保健の授業を行います。授業内容は、「地域のさまざまな保健活動」です。

広く白金の地域で医療活動が続けいらつしやる先生方から直接講義を受けられる機会は、なかなかありません。内科（鈴木浩一先生）・眼科（古野史郎先生）・耳鼻科（山根康隆先生）・歯科（西辻直之先生）・薬（長谷川安紀子先生）・婦人科（中嶋章子先生）の六つのグループに分かれ、それぞれの分野に関連した講義が二〇分間ほどあります。先生方は本題に沿って、パワーポイントや実験、資料など工夫され、六年生にわかりやすく医療と私たちの生活についてお話してください。

講義終了後、六年生が学習をまとめ、発表会を行います。五校時（五〇分間）の前半を講義、後半を発表とまとめの時間にしました。今年度も、参観の皆様は講義内容がより明瞭に聞こえますよう、簡易拡声器の導入を勧め参ります。

授業終了後は、協議会を行います。子供たちを取り巻く身近な健康・安全問題を皆さんで考えていきたいと思えます。

参観は、六年生だけでなく、全校の保護者の方々の皆様が対象です。お誘い合わせの上、どうぞ、授業参観にお越しください。

十月十一日、十三時三十五分、スタートです。